

秋田市役所 職員座談会(技術職)

〈参加者〉



左から

建築課 根水 貴志 (電気) 平成25年度採用
農業農村振興課 宇佐美 愛 (農業) 令和元年度採用
大森山動物園 川本 朋代 (獣医師) 平成27年度採用
生活総務課 加藤 功祐 (建築) 平成26年度採用

〈現在担当している仕事を教えてください〉

根水:建設部建築課の電気設備担当に所属しています。市の持っている施設の電気設備関係の維持管理に伴う工事・設計等を行っており、例えば学校の大規模改修があれば、附帯する電気設備工事(空調、放送設備、ネットワーク配線工事など)を行っています。最近では、令和3年5月オープン予定の広面児童館の建替工事の設計監理をしています。

宇佐美:産業振興部農業農村振興課の人・農地担当で、農業振興地域整備計画という、農業の振興を図るべき区域の設定に関する業務のほか、この冬の大雪で農作業小屋や畜舎が壊れた方が融資を利用する際の利子助成制度などを担当しています。

加藤:市民生活部生活総務課の地域振興担当に所属しています。市民生活部で所管しているコミュニティセンターの整備に関する業務を主に担当しています。新築や改修の計画を立てたり、管理者や地元住民との調整を行ったりしています。その他、町内会等への支援や住居表示の決定などの業務を行っています。

川本:大森山動物園の飼育展示担当です。動物の飼育と治療が主な業務です。最近では、雄のアムールトラを大阪の天王寺動物園に搬出しましたが、その際トラに吹き矢で麻酔を打ったりしました。日常的には、例えばうさぎのお腹が張っているとすれば、レントゲンをとって治療したりと、日によって仕事が変わってきます。

〈秋田市職員を志望した動機を教えてください〉

根水:もともと電気の仕事と関係のない販売や営業の仕事をしていましたが、将来のことを考えたときに、転勤の多い仕事を続けていくのは難しいかなと考えていました。義父が電気工事の仕事をしていた影響で、電気工事の資格を取ったのですが、たまたま秋田県と秋田市で電気技師の募集をしているのを見つけました。その中で、県は転勤があるので、将来のことを考えて秋田市を志望しました。

宇佐美:前職は他の自治体で行政職として勤務していました。そちらで農業分野の課に配属され、食や農業で地域を盛り上げるという業務をしていました。もともと大学が農学部で、こういう仕事にこの先も携わっていきたいと思っているタイミングで秋田市で農業職の採用があったので、地元ということもあり、地域密着で仕事したいと考え志望しました。また、市役所で農業職を募集しているところがほとんどないので、チャンスだと思いました。

加藤:大学を卒業して約5年間、いつかは秋田で働きたいと思いながら県外の民間企業で働いていました。最低でも3年は頑張ろうと思いながら秋田に帰る計画を立てていました。大学の頃、県のインターンシップを経験しましたが、市の方が市民に近く、地域に密着した仕事が出来るということを思い出し、秋田市を志望しました。



川本: 大学時代は神奈川にある大学へ通っており、卒業後も神奈川にある動物病院に務めていましたが、大森山動物園で嘱託職員としての採用があると聞いて、移住することを決めました。その後、市の採用試験を受けて正職員として採用されました。秋田は縁もゆかりもない土地でしたが、動物園で働きたいと思って一念発起しました。

〈職場の雰囲気教えてください〉

宇佐美: 皆さん話やすく、いい意味で気を遣うことなく過ごしています。仕事の相談もしやすい環境なので、安心して仕事に取り組んでいます。

加藤: オープンフロアで変にシーンとしていないし、周りの人と話しにくい雰囲気もないです。

川本: チームで動くことも多く、コミュニケーションが必要とされるなと思います。乾草の搬入など、出番の飼育担当と獣医担当みんなで連携しながら頑張っています。事務所内もオープンな環境で仕事をしやすいです。



根水: 年齢層が幅広く、高卒1年目から50代職員までいて、人数も多いです。それぞれが割り振られた工事を担当するのが基本ですが、1人の経験だけだと分からないことや専門外のことは他の担当に聞かないと分からないこともあるので、その都度周りの人に話を聞く感じです。オープンフロアなので他の課所室とも話しやすいです。

〈行政職場と技師職場で、雰囲気などに違いはありますか〉

根水: 前に所属していた防災安全対策課(行政職場)では、津波ハザードマップの配布や自主防災組織の訓練などで市民対応が多かったです。技師的な仕事というよりは、行政職のような仕事をしていました。

加藤: 前に所属していた建築課(技師職場)では業者対応がほとんどでしたが、現在の生活総務課(行政職場)では市民と接する機会が圧倒的に多いです。

〈入所前に想像していた市役所像と、現在感じている市役所像で違いはありますか〉



川本: 獣医の職場は民間でも公務員でも休みが取れないのかなと思っていましたが、ちゃんと休みが取れるし、年休も取れます！

根水: 思ったより仕事の自由度は高いなと感じています。予算でガチガチに決められているというよりは、具体的な所は動きながら考えていくということもあります。また、反対に市役所の文書は定型で細かく決まっていて、しっかりしていると感じましたし、そういう所は市民からもちゃんとしているというイメージを持ってもらえるのかなと思いました。

宇佐美: 職員同士の距離が近く、コミュニケーションが取りやすいと感じています。前職と同じ業務であっても進め方が違うこともあり、最初は戸惑うこともありました。

加藤: 出身校の繋がりが強いなと感じています。〇〇高、〇〇大出身の会があったりして、そういう繋がりに助けられることもあります。

〈余暇活動の時間は取れますか〉

根水: 子どもが小さいので、家事育児に追われ「自分の時間」を作るのはなかなか難しいですが、休みが取りやすいので、仕事とプライベートのバランスは取りやすいと思います。

宇佐美: 新型コロナウイルス感染症が流行する前は、年休を使いながら旅行に行くこともできていました。

加藤: 繁忙期を除けば、早めに帰れることがあり、趣味が多い人はいいと思います。家に帰ってからは、自分は家族とゆっくり過ごしています。繁忙期を避けて必要な調整をした上であれば年休も取りやすいと感じています。

川本: 私も新型コロナウイルスが流行する前は、よく同僚と飲みに行ったり、温泉に行ったりしていました。

〈仕事のやりがい・達成感を感じる時は、どのようなときですか〉

宇佐美: 農業用施設を建てるときなどに、農業振興地域整備計画を変更してほしいと言われることがありますが、お客さんの工期を考えながら計画の変更する必要があり、計画変更後、無事に施設が完成したときは達成感を感じます。

加藤: 担当している工事を終えたときは、達成感、というよりもほっとするというか、安心感を感じるというほうが合ってる気がします。

川本: いままで妊娠できなかった高齢のキリンが出産するということがありました。出産に備えて他の動物園ではどのような対応をしたか問い合わせ、いろんなケースを想定して獣医と飼育でミーティングを繰り返し行いました。無事にうまれたときはほっとしたと同時に、命をつなげる手伝いができたと感じました。



根水: 自分で設計して工事監理して、それが具現がされてもイメージと違うと感じることがたくさんあります。こうした方が良かったと思うことの方が多いのですが、一つの仕事が終わった、という安心感があります。

加藤: 一つの工事が終わっても、達成感を感じるのはなかなか難しく、反省することの方が多いです。

根水: 工事の現場で、本当に達成感を感じる、というのはなかなか難しいですね。

〈受験生へメッセージ〉

根水: 自分が仕事をするうえで、何が一番大切か、何をやりたいのかというのを重視して、選んでもらえればいいなと思います。また、入所する前に専門知識を持ってないといけないわけではなく、大学の専攻によっては電気の分野でも電子が専門ということがあります。ですが、いきなり「全部ひとりでやれ」ということはないので、安心して入ってきてほしいと思います。

宇佐美: 直接秋田市のために何か出来る職場というのが秋田市役所かなと思います。自分の仕事が直接まちづくりに関わってきますが、それが出来るのは秋田市役所しかないと思います。

加藤: 採用される前でも後でも、仕事に関係することでもしないことでも、もっと秋田市を知った方がいいと思います。まちの動きを知ることや市役所の内外を問わずいろいろな人と会うことは、仕事に活かされることも多いですし、仕事だけでなく住んでいても楽しくなると思います。

川本: やりたいことを具現化できる職場だと思います。こういうことをやりたい、ということを上司に相談してみると、結構自分の意見を聞いてもらえます。それが形になるととても面白いし、やりたいことがあればどんどん発言できる職場なので、秋田市を希望している方は頑張してほしいですし、入ってからもやりたいことがあれば、その実現を目指して頑張してほしいです。



(余談)

〈みなさん県外で生活していたことがありますが、他市とくらべて秋田市のいいところを教えてください〉

川本: 通学中の小学生とすれ違ったときに、みんな元気に挨拶してくれます！小さい頃から挨拶を大切にするように育てられているんだなと思いました！

根水: 仕事で学校に行っても元気に挨拶してくれますね！

川本: お米とお酒がとってもおいしいです！